

2022.11.18

【開催報告】 Peace Now! Okinawa 2022

概要

日程：2022年11月5日(土) 13:30~6日(日)14:00

場所：沖縄県南部

参加者

北海道BK(1)*代表派遣、東北BK(1)、奈良教育大学生協(1)、近畿大学生協(1)、島根大学生協(1)、下関市立大学生協(1)、北九州市立大学生協(2)、熊本大学生協(1)、長崎県立大学シーボルト校生協(1)、立命館生協 APU(1)、地域実行委員(5)*熊大2,琉大2,九州BK1
ブロック(10)*職員1、全国大学生協連(4)*学生3,職員1



計11会員30名(運営含む)

セミナーテーマ

- ① 沖縄で地上戦が起きた背景を知り、沖縄戦の特徴を理解し、現代の紛争に対する自分なりの視点を持てるようになる
- ② 沖縄の戦後の歩みを知り、戦後の復興と課題について多様な視点を持てるようになる
- ③ 自分の考える「平和」を自分の言葉で語る事ができ、未来の社会が平和であるために今自分ができていることを考えることができる

00 事前学習会で沖縄に来る準備を!

8/10 事前学習会に10人参加!

当日、より学びを深く行うためにあらかじめ学べる知識を知るために事前学習会を行いました。Peace Now!の歴史や想いについて学びました。沖縄についてのクイズを行ったり、自分と平和について「自分と平和トーク」を行ったりしました。参加者同士で事前に交流する機会にもなりました。

*その後、沖縄県内の医療ひっ迫を考慮し9月開催は中止。参加者を再募集して11月に実施いたしました。
*また11月参加者に向けて、『沖縄戦の特徴』を開設した事前動画を発信いたしました。

Peace Now!の歴史

Peace Now!の想いは長い歴史が繋がっています。

1982年〜「平和げセミナー」
PeaceNow!発足の取り組み

Peace Now!の歴史

<https://www.univ.coop.or.jp/peacenow/history/index.html>

- PN!の歴史↑
- PN!を行う理由↓
- “自分と平和”トーク→

改めてなぜPN!を行うのか

Peace Now!をするのは、いったいなぜ?

①過去の歴史や経験から。

②民主的な意思決定のできる組合員を揃えたいから
→社会で起きている課題に関して、自分自身の意見をしっかりと持つ。

・交流会開催の目的覚えてますか?
・今日は「語り合い」と「交流」を一番やってもらいます。
・学びやインプットは現地でも一緒にやりましょう!
・あるいは、クイズで気になったことをたくさん調べてみましょう
・みなさんの「平和」という言葉に対するイメージや、興味関心に沿って交流をしてみたいです

ようこそPN!事前交流会へ!

PeaceNow!事前交流会とは
① PeaceNow!セミナーについて理解し、参加意欲を高める。
② 平和について様々な観点から考え、平和観を言語化する。

・現地に行く前に事前に沖縄について知り、興味関心を高める
・平和という言葉に対するイメージを語り合い、当日の自分の言葉としてアウトプットする(話す)

01 久しぶりの対面! 沖縄へようこそ!

アイスブレイク

PN!Oとしては数年ぶりの対面開催、運営側も参加者も「対面が初めて」「久しぶり」という中での開催でした。11月開催ということもあり、夏季休業と比べて参加者数は限られていました。

最初のアイスブレイクでは「行ってみたい場所クイズ」を行いました。平和記念資料館内のホールで参加者同士が楽しく話す姿が見られました。



02 まずは平和記念資料館！

資料館見学

PN!Oにおいて資料館見学は欠かせません。5つの部屋の観覧を通して、戦前から戦後まで、2時間じっくり見学をしました。また当日は特別展示の「アメリカ世(ゆ)の記憶」といったものまで見ることができました！



米軍兵士が友人の死を悲しんでいる写真を見た。被害者は日本人だけではない。敵であった米軍兵士、日本人兵士や米軍兵士の家族も苦しめられ、被害者は数え切れないほどいる。(奈良教育大)

03 平和記念公園

FW(フィールドワーク) ①

資料館見学後、そのまま外に出て平和記念公園内でフィールドワークを行いました。平和の礎やギザバンタについてのガイドを聞くことで、かつての激しい地上戦の最期について考えさせられたのではないのでしょうか。

また短い時間ではありましたが、ガイド後に自由時間を設けて公園内を各班散策しました。礎を近くで見たり、各班海を背景にの記念写真を撮ったりしました。



海が眩しかった。きっと過去見た海は絶望の象徴だったはず。そこに想いを馳せると、景色が響いた。(東京ブロック)

04 嘉数高台公園

FW(フィールドワーク) ②

公園内をポイントを周り沖縄戦の跡と普天間基地について学びました。鉄筋コンクリートが損傷から地上戦を激しさを、住宅街に囲まれた基地からリスクと現状をたくさん考える時間となりました。

ガイドの際に「沖縄県出身の実行委員だからこそ感じていること」を聞いたことも印象的です。同世代の大学生が考えている“リアルな声”を大切にしたいと思いました。



ニュースでは普天間基地について聞いたことはあったけど、実際に見て民家との近さに驚いた(熊本大)

【普天間基地(@嘉数高台展望台)】

実際の跡を見て実感を持ちました。ここで人が沢山なくなっていて、その戦争が終わっても、長い時間が経っても問題が消えることは無いんだと肌で感じました。(札幌学院大学)



05 夜は語り合う

感想交流

セミナーの実施時間は約24時間。時間を捻出するため、移動中のバス車内で感想交流の提起(問いかけ)を行い、会場に着き次第実施しました。1日目に「見て・聞いて・感じたこと」を確かな実感にすべく、今の気持ちを各班アウトプットしました！



平和について自分とは違う考え方があってそれにも納得できるものが多くて印象に残りました。(近畿大学)

* “問” は画像をクリックすると閲覧できます！

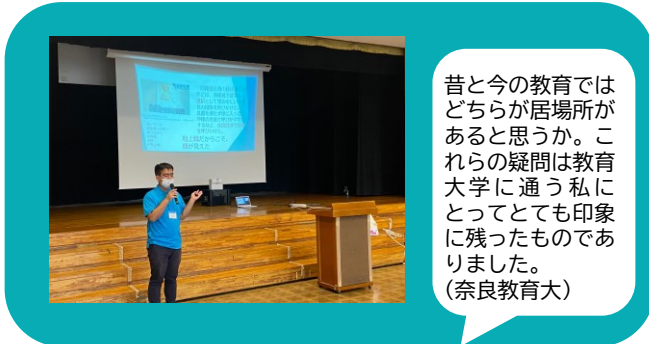
06 学習会

第1部:ウチナンチュと沖縄戦

第2部:『青空教室』から学校の役割を考える

第1部では沖縄県民が豊かな暮らしを求めて海を渡った歴史を通して、平和に必要な「つながり」について学習しました。第2部では収容所に設けられた青空教室から「学ぶ意欲」や当時の子どもたちの声に着目した学習し、現在の学校が担う役割について考えました。

私たちの学びの場であり、憩いの場でもある“学校コミュニティ”に着目した企画は、新たな視点だったのではないのでしょうか。



昔と今の教育ではどちらが居場所があると思うか。これらの疑問は教育大学に通う私にとってとても印象に残ったものであります。(奈良教育大)

*番外編 アディショナルタイム

全体交流をWebツールでチャレンジ(@バス車内)

「班を超えて交流する時間を確保してもらいたい」

「感想交流が予定よりも、若干短かったかも…」

上記のような現状に対し、急遽Slidoといったツールを使って交流を行いました。学習会や感想交流を通して気づいたこと・感じたことを投稿していただき、車内でいくつか読み上げながら全体交流を行いました。

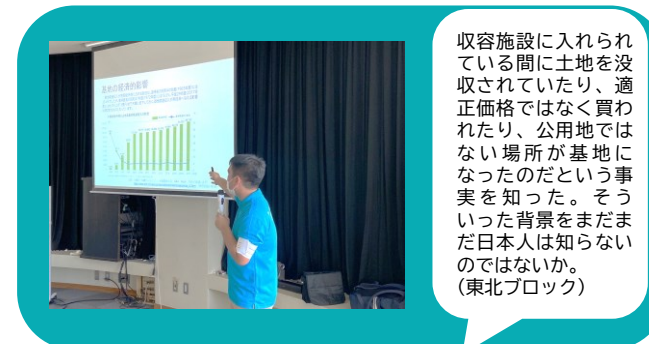
*みなさま、当日はご協力誠に感謝申し上げます。



07 米軍基地について

米軍基地について知ろう

米軍基地について、短い時間ではありましたが『施設概要、役割、基地設置の経緯、基地問題、経済的影響』をコンパクトに学びました！基地の現状や歴史を知ることで、「今沖縄で起きていること」を知り、「沖縄で学ぶ平和観」がより深まります。

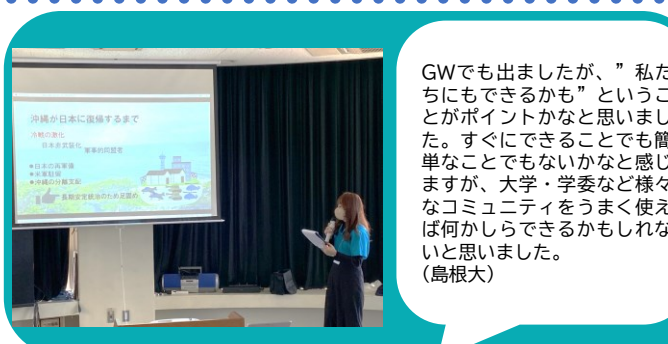


収容施設に入れられている間に土地を没収されていたり、適正価格ではなく買われたり、公用地ではない場所が基地になったのだという事実を知った。そういった背景をまだまだ日本人は知らないのではないかと。(東北ブロック)

08 戦後の沖縄

#日本復帰50周年 #民主主義の在り方

沖縄が日本に復帰するまでの経緯と併せて歴史的背景を含めた沖縄の特徴について学びました。その後、復帰運動の事例を紹介し、グループワークでは社会的課題と解決方法を話し合いました。「声をあげること」の大切さについて学び考える時間となりました。



GWでも出しましたが、“私たちにもできるかも”ということがポイントかなと思いました。すぐにできることでも簡単なことでもないかなと感じますが、大学・学委など様々なコミュニティをうまく使えば何かしらできるかもしれないと思いました。(島根大)

09 まとめの企画

#これからの私たちにできること

沖縄に来て感じたことを振り返り、『平和』から連想されるイメージをもとに、『実現』のアイデアを出し合いました。

最期に各自「行動宣言」をしてもらい、お互いの宣言用紙の裏にコメントを書き合いました。



PN!はどのように行うのか?-ぜひご意見ください!

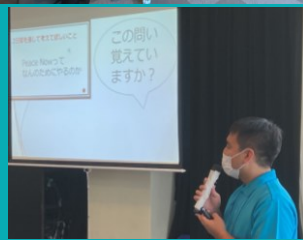
社会情勢や大学生の現状が変化中、平和学習の在り方も変化する必要があるのでしょうか。実行委員会内でも、企画内容を考える際に大きなテーマとなりました。

『実行委員の学びと成長、学生同士の交流・語り合い、「平和」をテーマに話すからこそできる交流体験、実行委員が伝える学生のリアルな平和観』などなど、様々な魅力がPN!にはあります。

コロナ禍前後でPN!Oの企画内容は大きく変化しているかもしれませんが。しかし数年の時を経てまさに『今/Now!』、可能かつ必要な“**学び**”と、学生が「沖縄で」語り合う“**機会**”を作ることができました。様々な情勢の中、対面開催にたどり着けたことを、心より嬉しく思います。

★企画局長挨拶より抜粋:

『**伝える、考え続けることで、平和をつないでいこう**』



戦争は絶対に繰り返してはいけません。ぴーすなうはきっかけで、伝えていくことで初めて意味があるものになると思う。体験者の思いを受け止めてしっかり伝えていきたい。(北九州市立大)

参加者の声とPN!O当日の様子

私自身の学びも今後深めたいと思うことは当然だが、学生が学べる場をもっと提供したいと考えました。



これから平和について学んでいくきっかけになった。ツイッターでのツイートやフーズショップで折鶴企画、募金企画などに活かしていきたい。

まずは、今回の体験を大学に持ち帰って共有し、参加していない人の平和について考えるきっかけになればいいなと思います

実際に現地に行くことができたということが良かったです。企画も盛りだくさんでとても充実した2日間だったと感じています。これまで沖縄・沖縄戦についてはそれほど知りませんでした。沖縄戦に少し興味を持った理由の一つは去年『ひめゆりの塔』という映画を観たことです。原爆ともまた違う地上戦の恐ろしさというものをとても感じた2日間でした。

意識にとどまることなく、歴史や戦争の現状だけではなく、どうやって平和を作り上げていくのかという具体的な方法や人権や社会運動についての学びも必要かも!

学生の視点からの説明だったのでとても聞きやすかったです! 気軽に話しかけてくださったので初対面の方との1泊2日も楽しめました!

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!
来年も沢山のご参加お待ちしております!

～平和・国際貢献や社会的課題などへ、興味・関心を持つきっかけに～

発行元: 全国大学生生活協同組合連合会 | 執筆者: 齋藤薫(全国学生委員会)

お問い合わせ: Peace Now! セミナー事務局(nfuca-PeaceNow@univ.coop)